

BFSニュースレター

発行者 びとファイナンシャルサービス株式会社 (BFS)

2009年7月1日発行

Vol. 2, 第2号

このニュースレターの主な掲載情報：

- グローバルな政治・経済、マーケットの最新情報や分析見通し
- BFSのサービス、実際のトピックス、ケーススタディ
- 資産運用や人生設計に役立つ情報
- 知っておくと得するホットな情報

CFA証券アナリスト資格-世界最高水準の証し

いま、アメリカ、首都ワシントン郊外にあるCFA Institute(CFA協会)本部にきています。その目的は、CFA第3次試験の論述部分の採点です。

下の写真のように、CFA資格を持つ人が世界中から300人以上集まりチームを組んで厳格に採点をしていきます。私もその中の1人です。



そこで、この資格についてお話ししましょう。

-倫理、教育そしてプロとしての卓越性の最高基準を設定し、投資分野の職業を世界でリードする。-

これがCFA協会のミッションです。1960年にこの資格制度は始まり、世界130カ国以上に約10万人(日本約800人)の資格保有者がいます。CFAはChartered Financial Analystの略称です。

金融市場における質の高い資産運用の専門家に対するニーズの高まりと、グローバル化による世界水準の資産運用プロフェッショナルへの需要が、CFAの資格価値を押し上げています。

「CFA資格保有者は、卓越性と国際的な自由な移動を証明するパスポートを保有しているといってもよい。」(Financial Times)

「CFA資格は、世界共通の通貨になった。」(エコノミスト)

実際海外の金融機関では、採用条件としてCFAもしくはMBA資格保有を条件にあげることが多くあります。またMBAと異なり、CFAはより金融に特化している為金融に関してはMBAよりも有利だという考えもあります。また日本では、そういった専門的な知識に加え高度な英語スキルを保有している証しになります。

中国、インドなど成長著しい国でのCFA取得熱はすさまじく、日本をはるかに上回る伸び率になっています。

CFA資格取得には3次の試験に合格し、少なくとも4年間の投資分析関連の職務経験が必要とされます。またCFA資格保有者は、その前提としてCFA Instituteの「倫理基準および職業行為基準」を遵守することが求められています。

私は、この資格を保持し、お客様に最高品質の信頼できるサービスを提供しています。



日本の人口問題-少子高齢化

国立人口問題研究所の「日本の将来推計人口」の中位推計によりますと、2055年には総人口は30%減るのですが、生産年齢(15-64歳)は46%も減るそうです。

その結果、65歳以上の高齢人口を生産年齢人口が支える比率は、現在の高齢者1人に対し生産年齢者3.3人から、1人に対し1.3人にまで低下するという事です。

こうならないようにする対策は、いろいろ議論されています。

1. 女性の労働力化
2. 高齢者活用
3. 移民促進



退職後の寿命を昭和40年当時といまを比べてみますと、昭和40年当時は5年だったのが、今では20年にもなっています。高齢者の活用は、年金制度の維持なども考えると、これからの大事なテーマになってくるでしょう。

また、アメリカ、ヨーロッパ先進国でも移民が大きな活力となっていることを考えると、日本も移民を促進する立場を取らないと、これからは立ち行かないのではないのでしょうか。

今月の言葉

積小為大 - 二宮金次郎

小を積んで大を為す(大きいことをしたいと思えば、小さいことを怠らずに勤めなくてはならない。)



・BFSのミッションは、お客様とパートナーになり、正しく客観的なプランニングとお客様資産の運用を通して、お客様を人生のゴール達成に導くことです。

・BFSは、金融機関とは完全に独立して、お客様利益最優先の公正なアドバイスを提供しています。

・BFSは、最新で高度な理論や知識、30年以上のグローバルな豊富な経験、強い倫理観で最高品質のサービスを提供しています。

・資産運用サービスやライフプランニング、BFSについてもっと詳しく知りたい方は、左記までお問合せください。

Web サイトもご覧ください
<http://www.bfsc.jp>

発行者 びとファイナンシャルサービス株式会社 (BFS)

代表取締役 尾藤 峰男

〒164-0003

東京都中野区東中野4-7-18

岡藤ビル303号

電話：03-5338-9733

携帯：090-4934-3121

FAX：03-5338-9734

電子メール：info@bfsc.jp

お客様の人生に豊かさを、心に安心とゆとりを BFSの大切な役割

私の健康法その2 - 禁煙

私は、数年ほど前まで喫煙者でした。大学卒業以来15年ほどは一日一箱は吸っていました。1993年くらいから何度となくやめることを試みましたが、やめることができませんでした。家族には、禁煙していることになっているのですが、隠れて吸っているところを何度も見つかかり、あきれられることもありました。隠れて吸っている心理的負担は大きいです。

やめるきっかけは、いまの事務所で、タバコを吸うたびに近所をぐるっと回ってくる時間口スを考えてからです。1日5回回ってくれば、50分ロス。さらに、当時一箱230円だったでしょうか。これでひと月6000円、1年で7万円超。10年で70万円。ある日、コンビニの前で箱の最後の一本を根元まで思い切って吸い、こんなまずいものはないと自分の意識に刻み込み、やめました。8年ほどになりますがもう吸っていません。吸いたくなるとあんな



なまずいものはないと、刻んだ意識を呼び起こしていました。

周りにもタバコの煙が迷惑なことはいうまでもありません。通

行中の歩きタバコは、ベビーカーの幼児には危ないし、歩行者にタバコの火がかかる危険もあります。何より、7メートルは広がる複流煙は、大変つらいものがあります。

タバコによる健康への影響ははっきりしています。肺がん、食道がん、喉頭がん、成人病、老化が早まるなどの大きな原因になります。寿命も10年は短くなるといわれています。早くやめるに越したことはないですね。喫煙の経験者である私としては、いま禁煙の効用を大いに感じています。